

【基本施策3】 障害者がスポーツに親しむ機会の充実

			所属名	スポーツ振興課	
事業No.	事業名				
22	【重点事業】 障害者を対象としたスポーツ事業の実施				
事業概要	①各体育館等において、障害の特性に配慮したスポーツ 事業（一般公開、教室・講習会、交流機会など）を開催する。 ②障害担当所管の事業と連携し、障害者基本法第9条に基づく障害者週間（12月3日から9日まで）の一環として障害者週間記念事業を実施する。				
計画目標	拡充	目標に対する評価	B:計画目標を 達成した	コロナ影響	無
令和5年度実績	①障害の特性に配慮したスポーツ事業 （1）一般公開 碑文谷体育館 290人 （2）教室講習会 駒場体育館 1事業 238人 碑文谷体育館 2事業 392人 中央体育館 1事業 146人 八雲体育館 1事業（親子で楽しむふれあい体操） 12人（6組） 砧野球場・砧サッカー場 1事業 25人 （3）交流機会 駒場体育館 2事業 82人 区民センター体育館 2事業0人（事業は実施したが障害者の参加はなかった） 中央体育館 2事業 140人 砧野球場・砧サッカー場 1事業 25人 碑小学校屋内プール 1事業（ふれあい水泳教室 101人） ②八雲体育館 「めぐろふれあいフェスティバル de スポーツ」 123人				
評価の理由	各施設に在籍する障害者スポーツ指導員や、障害者スポーツ団体、地域団体などが協力し、障害のある人が安全にスポーツに親しめるよう障害者向けの教室やイベント等を実施して、障害者の参加の増大を図った。また、障害のある人と地域住民等の交流機会（イベント）を設けるなど、各施設がそれぞれ事業を実施した。				
課題など	・バリアフリー化が未実施の施設については、施設面での整備が必要である。 ・障害者スポーツの認知度をあげるため、各施設での教室事業やイベント等を積極的に実施していく。 ・障害のある人の運動方法に関する基礎的な知識及び技術を介助者へ提供するため、及び障害のある人への事業を拡充するために、各施設職員の障害者スポーツ指導員資格取得を推奨するとともに、関係団体との連携を継続していく。				

		所属名		道路公園課	
事業No.	事業名				
23	ポニー教室（団体）				
事業概要	運動機能・情緒面の発達、社会参加を意識したプログラム実施により、障害児の自立支援に寄与することを目的とし、碑文谷こども動物広場にて、動物の世話や乗馬など、利用団体に応じたメニューを実施する。				
計画目標	継続	目標に対する評価	B:計画目標を 達成した	コロナ影響	無
令和5年度実績	ポニー教室（団体）239件、3,699人が参加				
評価の理由	昨年度から引き続き、多くの団体・利用者が参加している。				
課題など	動物や利用者への暑さ対策を検討していく。				

		所属名	生涯学習課			
事業No.	事業名					
24	ステップアップ講座					
事業概要	知的障害がある参加者が、学習活動（生活学習・サークル活動（運動系）・サークル活動（文科系））を通して、自主的に社会に参加し、より豊かな生活を送るための力を身につける。（15歳～37歳）					
計画目標	継続	目標に対する評価	B:計画目標を達成した		コロナ影響	有
令和5年度実績	チャレンジーズスポーツ 参加者 20人 新型コロナウイルス感染症の影響を抑えるため、上半期は午前中の生活学習のみを行い、学習活動のうちサークル活動（運動系）・（文化系）を生活学習に組み込み、それぞれ2回ずつ行った。下半期は、新型コロナウイルス感染症拡大前の通常学習に戻し、午前中生活学習、午後にサークル活動（運動系、文化系）を行う形式に戻し、活動を行った。					
評価の理由	新型コロナウイルス感染症に配慮し、大規模に影響を受けることなく、運動サークルも行い、通常活動に戻すことができた。コロナ禍明けの活動とあり、筋力や体力の衰えが見られる中、徐々に活動を活発化させるためのプランを立てて、けがもなく、楽しく行うことができた。					
課題など	現状は、中目黒スクエア内の中目黒児童館のプレイルームを利用しているが、運動に特化した施設ではないため、物理的・空間的な制限があり、今後、スポーツをするための場所の確保が課題である。					